

2025年10月10日

ローム株式会社

日本全国にオーケストラの音楽をお届けする特別企画第10弾！

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT Vol.10

新日本フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 川崎

ローム株式会社(本社:京都市)が支援する公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション(京都市)は、財団設立30周年を記念して開始した、全国でオーケストラのコンサートを開催する「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」(以下、「本プロジェクト」)のVol.10を2026年2月23日(月・祝)に川崎にて開催いたします。

本プロジェクトは、これまでに京都、福岡、仙台、倉敷、浜松、名古屋、熊本、宮崎、札幌で開催され、多くのお客様にお楽しみいただきました。オーケストラの素晴らしい演奏はもちろん、過去に財団の音楽家育成事業に関わり、現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」によるソロも披露しています。

今回の公演も岩代太郎作曲の設立30周年記念作品「東風慈音ノ章」で幕を開けます。続いて、ローム ミュージック フレンズであり、パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールにおいて史上最年少で入賞後、数々のコンクールで優勝したヴァイオリニスト・米元響子をソリストに迎え、グラズノフの協奏曲を披露します。プログラムのメインには、チャイコフスキーの壮大でドラマチックな交響曲第5番を、音楽に対する誠実な姿勢で信頼も厚く数々の国内オーケストラでポストを歴任した梅田俊明の指揮でお届けします。演奏前には、司会の朝岡聡が楽しく楽曲を解説するプログラムもご用意しています。さらに、当日の公演の様様を視聴できるアーカイブ配信では、コンサートのスペシャルゲスト市川紗椰による配信限定企画もお楽しみいただけます。

ローム ミュージック ファンデーションの30年以上にわたる音楽文化支援活動で得た絆が生み出す豪華プログラムをお楽しみください。

■第10回公演概要



名 称	: 新日本フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 川崎
日 程	: 2026年2月23日(月・祝) 15:00開演(14:15開場)
会 場	: ミューザ川崎シンフォニーホール(川崎市)
出 演 者	: 指揮/梅田 俊明 ヴァイオリン/米元 響子 管弦楽/新日本フィルハーモニー交響楽団 司会/朝岡 聡 スペシャルゲスト/市川 紗椰
料 金	: S席/4,000円、A席/3,000円、B席/2,000円
チケット販売	: 2025年10月20日(月)10:00～ チケットぴあ他にて販売開始
主 催	: 公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション

<プログラム>

岩 代 太 郎: 東風慈音ノ章 ～ローム ミュージック ファンデーション設立30周年記念 委嘱作品～

A. グラズノフ: ヴァイオリン協奏曲 イ短調 Op.82 (ヴァイオリン独奏: 米元 響子)

P.I.チャイコフスキー: 交響曲第5番 ホ短調 Op.64

■コンサートのポイント

・本プロジェクトのために委嘱した岩代 太郎作曲の作品を演奏。

世界初演動画(ダイジェスト)はこちら<<https://youtu.be/o9ZnHbDusbU?si=2KVdgVwU--xY711n>>

・ソリストの米元響子(ローム ミュージック ファンデーション2007～2010年度奨学生)はパガニーニ国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)において史上最年少で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクールでも優勝した、世界で活躍するヴァイオリニスト。指揮者は、数々の国内オーケストラのポストを歴任した梅田俊明。

・クラシック愛好家だけではなく幅広い方々にお楽しみいただけるよう、司会の朝岡聡が楽曲を解説。

＜アーカイブ配信について＞

クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」にて、1か月間の期間限定でコンサートのアーカイブ配信を実施いたします。アーカイブ配信特別企画として、モデル・タレントの市川紗椰さんがナビゲーターとして「街の音」をテーマに川崎市内を訪れるコーナーや出演者へのインタビューもご用意。

配信チケット料金：500円(コンサートの来場者のみ限定割引あり。詳細は添付のチラシをご参照ください。)

配信期間：2026年3月4日(水)15:00～2026年4月4日(土)23:59

配信サイト：クラシック専門ストリーミングサービス「カーテンコール」<<https://curtaincall.media/>>

■ 30周年記念委嘱作品について

①タイトル

＜日本語表記＞ 東風慈音ノ章(こちじおんのしょう) Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

＜英語表記＞ The Chapter of KOCHI-JION Rohm Music Foundation 30th Anniversary Work

②作曲者 コメント

以前から幾度となく、異国の地で「たった一人の日本人メイン・スタッフとして」映画や映像制作の現場に参画してまいりました。特にアジア圏内の制作現場では、歓迎の視線、そして嫌悪の視線が交差する現場も決して珍しくありません。そんな折、私は関係者の人々に、「慈愛」「敬愛」の念をもって誠意を尽くすことで、結果、多くの友人に恵まれてきました。「敬う」「慈しむ」という心情は、ほぼ誤解なく伝わるものと自負しています。因みに「愛情」や「礼節」だけではダメなのです。それは、相手が求めているカタチでなければ、伝わらず、受け止めてもらえないことさえあります。夫婦間や恋人同士であっても、「愛情」や「礼節」の掛け違いから喧嘩になることもあるほどですから。改めて言うまでもなく「愛情」や「礼節」が争いや戦争のきっかけになってきたことは、誰もが歴史から学べるところでしょう。

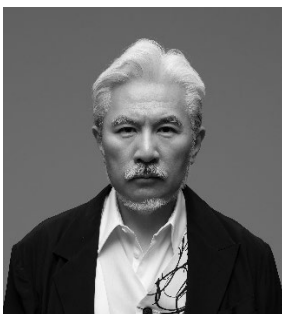
世界の分断が日に日に増し、不穏な空気感が漂っている今、極東に位置する私たち日本が、明日に向かって何を成すべきか、そんな想いを敢えて「祝典曲」に込めたいと思いました。

「音楽」が成就する為には「平和」が必要です。

「音楽」は「心」にしか宿りません。

そんな様々な明日への想いを込めて、「東風慈音ノ章」と名づけさせて戴きます。

＜作曲者プロフィール＞ 岩代 太郎



©Shinsuke Yamamoto

東京藝術大学大学院修了。国内外を問わず数多くの映像作品の音楽を担当。映画「血と骨」「春の雪」「蝉しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞を受賞。またジョン・ウー監督「レッドクリフ」「The Crossing」「Manhunt」、ポン・ジュノ監督「殺人の追憶」も手掛ける。TVでもNHK連続テレビ小説「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」なども担当。2018年より、演劇と音楽のあたらしいカタチの舞台「奏劇」を企画し、自らの原案・作曲・演奏で公演を行っている。また自ら主宰してNPO法人「オトブミ集〜絆」を立ち上げ、社会貢献活動にも取り組んでいる。

■ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT 特設WEBサイトについて

ローム ミュージック ファンデーションWEBサイト内に特設WEBサイトを設置し、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新しています。

過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。

(各公演情報内の「ダイジェスト動画はこちら」をクリックするとご覧いただけます。)

<<https://www.rmfm.or.jp/jp/30th-project/>>

■ ローム ミュージック フレンズについて

ローム ミュージック ファンデーションは様々な事業で若い音楽家の育成を図っており、その事業の中で関わった音楽家を「ローム ミュージック フレンズ」(5,127名:2025年9月末時点)として、ともに音楽を届ける仲間となっただいただいています。

事業名	内 容
奨学援助 (1991年度～)	国内外の教育機関で音楽を学ぶ学生への奨学金の支給。 現在までに574名を支援。
音楽在外研究援助 (1993年度～2014年度)	音楽家の一層の研鑽を図るための在外研究を援助。 現在までに64名を支援。
音楽セミナー (1992年度～2019年度)	プロの音楽家の育成を目的としたセミナー。これまでに弦楽器クラス、管楽器クラス、指揮者クラスを実施し、現在までに333名が受講。
ローム ミュージック セミナー (2019年度～)	世界で活躍するローム ミュージック フレンズによる音楽家育成セミナー。 宮田大・チェロクラス、山田和樹・指揮クラスを実施し、現在までに21名が受講。
京都・国際音楽学生フェスティバル (1993年度～2025年度)	国際交流と音楽家の育成を目的として、世界を代表する音楽学校から音楽学生を京都に招いて開催するフェスティバル。 現在までに国内外から2,734名が出演。
RMF&山田和樹 グローバル プロジェクト (2024年度～)	日本の音楽家が今よりも更に世界中で活躍する未来を作ることを目的に、グローバルに活動を展開する育成プロジェクト。 現在までに3名が参加。
小澤征爾音楽塾 (2000年度～)	小澤征爾氏の「若い音楽家を育てたい」という熱い思いで始まったオペラやオーケストラの公演を通じて若手音楽家の育成を図る教育プロジェクト。 現在までに1,672名が出演。

※ローム ミュージック フレンズは複数事業に関わった方がいるため、各事業の人数と合計人数は一致しません。

以上

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT (Vol.10)

新日本フィルハーモニー交響楽団 プレミアム・コンサート in 川崎



ローム ミュージック ファンデーション 設立30周年記念 委嘱作品

岩代太郎／東風慈音ノ章

A.K. グラズノフ／ヴァイオリン協奏曲 イ短調 Op.82

P.I. チャイコフスキー／交響曲 第5番 ホ短調 Op.64



梅田 俊明
(指揮)



米元 響子
(ヴァイオリン)



朝岡 聡
(司会)



市川 紗椰
(スペシャルゲスト)

2026.2/23 [月・祝] ミューザ川崎シンフォニーホール
15:00 開演 (14:15 開場)

〒212-8557 神奈川県川崎市幸区大宮町1310

全席指定 S席:4,000円 A席:3,000円 B席:2,000円

チケット発売開始

2025.10/20(月) 10:00～

公演チケットお取り扱い

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:310-236]

ミューザ川崎シンフォニーホールチケットセンター 044-520-0200

(10:00～18:00 / 年末年始12/29～1/3休業)

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

特設サイトのご案内

「ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT」
特設サイトでは、本プロジェクトの概要や各地の公演情報等を随時更新して
います。

過去公演のダイジェスト動画も掲載していますので、ぜひご覧ください。



アーカイブ配信のお知らせ

コンサートの様子と、市川紗椰がナビゲートする
限定企画を後日配信予定！
詳細は、裏面をご覧ください。



Vol.8 宮崎公演 配信限定企画より

公演内容に関するお問い合わせ

株式会社 1002 [イチマルマルニ] 03-3264-0244

(平日10:00～18:00 / 年末年始12/27～1/4休業)

主催：公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

※チケットは全席指定・消費税込です。※未就学児のご入場はご遠慮ください。※都合により出演者、曲目が変更になる場合がございます。予めご了承ください。

新日本フィルハーモニー交響楽団、梅田 俊明©K.Miura 米元 響子©Hirotsada Onaka

RoHM Music
Foundation
ロームミュージックファンデーション

ROHM MUSIC FOUNDATION 30TH ANNIVERSARY PROJECT

公益財団法人 ローム ミュージック ファンデーションは、京都市に本社を置く半導体・電子部品メーカーであるローム株式会社および
創業者の佐藤研一郎(1931年～2020年)が中心となって1991年に設立され、若手音楽家の育成やコンサート支援など

音楽文化の普及と発展のためさまざまな活動を行っており、2021年に設立30周年を迎えました。

設立30周年を記念し、この活動をより拡げるために音楽の素晴らしさを伝えるオーケストラのコンサートを全国各地で開催しております。

各地のオーケストラとともに、ローム ミュージック ファンデーションが過去に若手音楽家育成事業に関わり、

現在国内外で活躍する音楽家「ローム ミュージック フレンズ」の出演や、

設立30周年を記念した委嘱作品の演奏など華やかなプログラムをお届けします。

新日本フィルハーモニー交響楽団 New Japan Philharmonic (管弦楽)

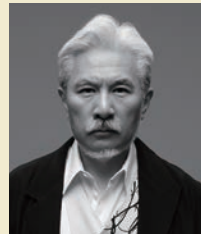


©K.Miura

インゴ・メッツマッハーがConductor in Residence(2013～2015年)、久石譲が新日本フィル・ワールド・ドリーム・オーケストラ(W.D.O.)音楽監督(2004年～2025年3月)、Music Partner(2020年～2025年3月)を務めた。受賞歴に三菱信託音楽賞奨励賞、三菱UFJ信託音楽賞、ミュージック・ベンクラブ音楽賞等。2023年4月より佐渡裕が第5代音楽監督に就任。街・ホール・オーケストラが一体となった音楽活動を行う。
公式ウェブサイト: www.njp.or.jp 公式X: [@newjapanphil](https://twitter.com/newjapanphil) 公式Facebook: [newjapanphil](https://www.facebook.com/newjapanphil)
公式Instagram: [newjapanphil](https://www.instagram.com/newjapanphil)

1972年、小澤征爾、山本直純の下、自主運営のオーケストラとして創立。1997年、すみだトリフォニーホールを本拠地とし、日本初の本格的フランチャイズを導入。定期演奏会や特別演奏会の他、地域に根ざした演奏活動も精力的に行う。1999年、小澤征爾が桂冠名誉指揮者に就任、歴代の指揮者には、初代音楽監督・小泉和裕(1975～1979年)、第2代音楽監督・井上道義(1983～1988年)、第3代音楽監督・クリスティアン・アルミンク(2003～2013年)、第4代音楽監督・上岡敏之(2016～2021年)、ダニエル・ハーディングがMusic Partner of NJP(2010～2016年)、

岩代 太郎 Taro Iwashiro (作曲)



©Shinsuke Yamamoto

東京藝術大学大学院修士課程首席修了。以後30年以上に渡り国内外を問わず、映像音楽を中心に幅広いジャンルで活躍。映画「血と骨」「春の雪」「輝しぐれ」「利休にたずねよ」「Fukushima 50」「キネマの神様」で日本アカデミー賞優秀音楽賞、「闇の子供たち」で毎日映画コンクール音楽賞、「レッドクリフ I&II」で香港金像獎最優秀音楽賞などを受賞。他に映画「殺人の追憶」「あゝ、荒野」「新聞記者」「月」「首」など、これまでに80作品以上の映画音楽を手掛けた。TVでもNHK「あぐり」、大河ドラマ「葵・徳川三代」「義経」ほか多数を手掛けた。東日本大震災の復興支援事業音楽プロジェクト「魂の詩」やNPO法人「オトミ集～絆」の主宰者として社会貢献活動にも取り組む。2025年には、自著「作曲人生讃歌」、自作ベスト盤CD「60年目のシンフォニア」を発表、さらに自作指揮演奏による還暦記念コンサートを開催した。

梅田 俊明 Toshiaki Umeda (指揮)



©K.Miura

1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。1986年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、1984年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の指揮者を歴任。NHK交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団を始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年4月より仙台フィルハーモニー管弦楽団の常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み2006年3月までその任を務めた。2001年第1回、2004年第2回仙台国際コンクールでは全ての協奏曲を指揮し、出場者、聴衆、国内外の審査員から絶賛を博した。1996年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。

米元 響子 Kyoko Yonemoto (ヴァイオリン)



©Hirofada Onaka

ローム ミュージック フレンズ<2007～2010年度奨学生>
1997年パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)において史上最年少13歳で入賞後、日本音楽コンクール、モスクワ・パガニーニ国際ヴァイオリンコンクール優勝、ロン＝ティボー国際コンクール第3位入賞など数々の賞を受賞。これまでにチョン・ミョンフン、ロベルト・ベンツィ、エリアフ・インバル、小泉和裕、小林研一郎、広上淳一ら著名指揮者をはじめ、国内の主要オーケストラはもとより、ベルリン交響楽団、モスクワ国立交響楽団、ケルン放送管弦楽団、マーストリヒト・リンブルフ交響楽団(オランダ)、リエージュ王立フィルハーモニー管弦楽団、ビルバオ交響楽団、台北市立交響楽団等の海外オーケストラとも多数共演。室内楽の分野でもヨーロッパ・日本を中心に活躍中。CDアルバム「イザイ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲(未完の新発見ソナタも含む)」は文化庁芸術祭優秀賞を受賞、「レコード芸術」特選盤に選出された。現在、オランダ・マーストリヒト音楽院教授。

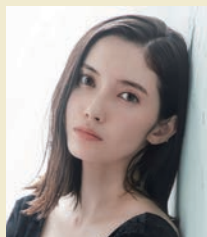
朝岡 聡 Satoshi Asaoka (司会)



音楽教育文化振興会理事。東京藝術大学客員教授。

横浜市生まれ。慶應義塾大学卒業。テレビ朝日にアナウンサーとして入社し、各種スポーツ中継の他「ニュースステーション」初代スポーツキャスターとして活躍。1995年フリーとなつてからはテレビ・ラジオ・CMの他、クラシックコンサートの企画構成や司会でもコンサート・ソムリエとして活動のフィールドを広げている。とくにオペラと古楽ではユニークな評論が注目を集めており、クラシックの語り部としても幅広く活動中。興味深い内容を軽妙な語り口で展開する独自の世界は、新しい芸術ファンのすそ野を広げる司会者として注目と信頼を集めている。日本ロシニエ協会副会長。公益財団法人 日本

市川 紗椰 Saya Ichikawa (スペシャルゲスト)



アメリカ・デトロイト育ち。16歳の時にスカウトされ雑誌の専属モデルとしてデビュー。以来、数多くのファッション誌で活躍。趣味は音楽、読書、アニメ鑑賞、鉄道、アート、相撲、食べ歩きなど多岐にわたる。NHK-FM「×(かける)クラシック」(毎週日曜 14:00～15:50)ではMCとして活躍している。

アーカイブ配信のお知らせ

1か月間の期間限定で、本公演の様子を後日配信いたします。

豪華出演者による贅沢なプログラムを期間中何度でもお楽しみいただけるほか、スペシャルゲストとして公演にも出演する市川紗椰が、公演地ならではの「音」をテーマに川崎市の名所をご紹介しますコーナーや、出演者インタビュー等の配信限定企画もご用意。

さらに、公演にご来場のお客様は、会場にて特別価格でご購入いただけます。(※公演当日限り)

配信期間:2026年3月4日(水)～4月4日(土)

料金:一般価格/500円 来場者限定価格/400円

配信サイト:クラシック専門ストリーミングサービス カーテンコール

<https://curtaincall.media/>

※視聴方法に関するお問い合わせはカーテンコール <https://curtaincall.media/contact> まで



ローム ミュージック ファンデーションは、かつてピアニストを目指していたローム株式会社の創業者である佐藤研一郎が中心となって設立した、音楽文化支援活動を行う公益財団法人です。奨学援助や学ぶ機会を提供するセミナーの実施、ローム ミュージック フェスティバルをはじめとするコンサートの開催、近年では「ローム ミュージック チャンネル」にてオンラインでの映像配信などを実施しています。これからも、音楽を通して豊かな文化づくりに貢献していきます。